

# 東京高専技術懇談会ニュース

2015年7月号

一般社団法人東京高専技術懇談会発行

## 1.見学会

7月29日(水)東京高専において「ものづくり教育センター」の見学会が行われ、約30名の参加者がありました。



技術職員の説明を聞く見学者

見学会は、①マシニングセンター、②3Dスキャナー、③放電加工機、④NC旋盤といった装置を順次見学しました。

## 2.総会が開催されました。

見学会に引き続き、一般社団法人東京高専技術懇談会総会が開催されました。出席会員は委任状を含め69名の出席となり会員総数121名の過半数となり総会は成立しました。



挨拶する濱田会長

総会は、前田理事が議長、横田理事が司会となって議案の審議が行われました。

1号議案「平成26年度事業報告と収支報告」については加藤理事と佐々木理事が報告しました。

2号議案「平成27年度事業計画と予算案」についても両理事が報告しました。

3号議案「役員を選出」については、加藤理事が比留間健一朗(蛇の目シン工業勤務)、土屋賢一(東京高専同)、土居信数(東京高専同)の3氏の提案理由の説明を行いました。

審議の結果各議案とも原案通り承認されました。

## 3.講演会

見学会の後、総会と同じ会場で、講演会が行われ約60名が参加しました。講師は、さまざまな新聞・テレビ等のマスコミに登場している「マッスルスーツ」を発明した東京理科大学工学部機械工学科小林教授

をお呼びして「人間生活を支援する実用的なロボット技術」の演題で行われました。

なお、小林教授は本会会員である菊池製作所(八王子市)と共同出資で、ロボット製作の大学発ベンチャー企業「株式会社イノフィス」を立ち上げ、企業経営者の顔も持っております。



小林先生

講演では

1. 「マッスルスーツ」は2006年から開発を始め、軽くて、パワーの出る仕組みは、内蔵するMckibben型と呼ばれる特殊な人工筋肉に由来すること、企業と連携することにより、使い勝手を高めたことなどの説明があった。
2. 「マッスルスーツ」以外に表題のとおり人間生活を支援する実用的なロボットを目指して、以下のように多数のロボットを開発している。

### ①「アクティブウォーカー」

歩行困難な方を支援するロボット歩行器

### ②「SAYA」受付ロボット

### ③「嚙下ロボット」

### ④ 人間用「搾乳ロボット」

### ⑤ 精神疾患診断装置

### ⑥ 表皮評価システム

講演後、質問も多く出て、盛り上がった講演会になりました。講演後は、小林講師も出席して懇親会を行い、会員以外にも多くの方が集まり、名刺交換等を行いました。

## 4.事務局から

総会も終わり、例年通り、年会費の請求をさせていただきます。会費の振り込みにあたっては振込手数料をご負担いただけるようお願いいたします。

技術懇談会に関するご意見や質問は下記までお願いします。

メール: [info@gizyutsucon.com](mailto:info@gizyutsucon.com)

電話:042-629-9345(担当:佐々木)